小学校における教科担任制の現状について

戸田市教育委員会
教　育　政　策　室

小学校教科担任制に期待される効果

１　授業の質の向上
・同じ授業を複数回実施できる⇒ 授業改善

２　小・中学校間の円滑な接続
・中学校教科担任制への順応⇒ 中１ギャップの解消

３　多面的な児童理解
・複数の教師による児童への関わり ⇒ 教師間の連携強化
(若手の先生への支援)

４　教師の負担軽減
・担当教科数の減少 ⇒ 授業準備の効率化

【参考】「義務教育９年間を見通した教科担任制の在り方について（報告）」概要
（令和３年７月 義務教育９年間を見通した指導体制の在り方等に関する検討会議）

小学校教科担任制に関する国の動向

令和3年（2021年）

（１）小学校高学年における教科担任制推進の考え方

中央教育審議会での整理を踏まえ、国として**小学校高学年における教科担任制の推進を図る**ため、・・・**特定教科における教科担任制の推進（専科指導の充実）を図ることを中心に考えるべき**である。

（２）対象教科について

教科指導の専門性を持った教師によるきめ細かな指導と中学校の学びに繋がる系統的な指導の充実を図る観点から、**外国語、理科、算数及び体育**について優先的に専科指導の対象とすべき教科とすることが適当と考えられる。

【参考】「義務教育９年間を見通した教科担任制の在り方について（報告）」概要
（令和３年７月 義務教育９年間を見通した指導体制の在り方等に関する検討会議）

令和６年（2024年）

学びの質の向上と教師の持ち授業時数の軽減のため、高学年に加え、**小学校中学年についても教科担任制を推進**し、専科指導のための定数改善が必要。

【参考】「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（答申）（令和６年８月 中央教育審議会）

全国における小学校教科担任制の実施状況（R6）

◯全国における小学校の教科担任制（※）については、
理科、音楽、外国語を中心に実施されている。

(%)	国語（書写以外）	書写	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	外国語	外国語活動
１年	2.6	13.6		4.8		2.4	20.7	10.4		11.4		
２年	3.9	22.8		6.8		3.9	31.5	17.8		13.4		
３年	4.5	36.1	15.3	12.4	41.8		51.6	27.3		15.3		41.0
４年	5.2	37.4	18.6	14.6	56.0		58.0	30.8		17.1		46.0
５年	9.4	34.8	28.5	21.6	68.3		63.2	31.2	45.1	24.0	58.9	
６年	10.1	35.4	29.6	21.9	70.8		64.5	32.5	47.0	24.7	60.0	

※本調査では、以下の多様な形態を含む。

単位(%)

・専科教員によるもの　　・別の学級・学年の教員が実施するもの(いわゆる授業交換)
・TTによるもの　　・中学校等の教員が兼務して実施するもの　など

【参考】「令和６年度公立小・中学校等における教育課程の編成・実施状況査」概要（文部科学省）

戸田市における小学校教科担任制の実施状況（R7）

◯戸田市における小学校教科担任制については、
全体的に全国よりも進んでおり、国語や算数などにも拡大している。

	国語（書写以外）	書写	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	外国語	外国語活動	道徳
１年	8.3	16.7		8.3		0	16.7	0		0			33.3
２年	8.3	25.0		8.3		8.3	33.3	8.3		0			58.3
３年	25.0	75.0	33.3	25.0	66.7		91.7	41.7		8.3		66.7	25.0
４年	50.0	75.0	58.3	75.0	83.3		100	66.7		41.7		66.7	25.0
５年	50.0	91.7	83.3	58.3	91.7		100	75.0	83.3	41.7	75.0		41.7
６年	58.3	75.0	100	66.7	91.7		100	83.3	91.7	41.7	66.7		58.3

低学年の先生が
高学年で指導することも

教科担任のほか、
TTや少人数も

主に専科として



専科や教科担任が
ALTとTTで指導
（担任とのTTは除く）



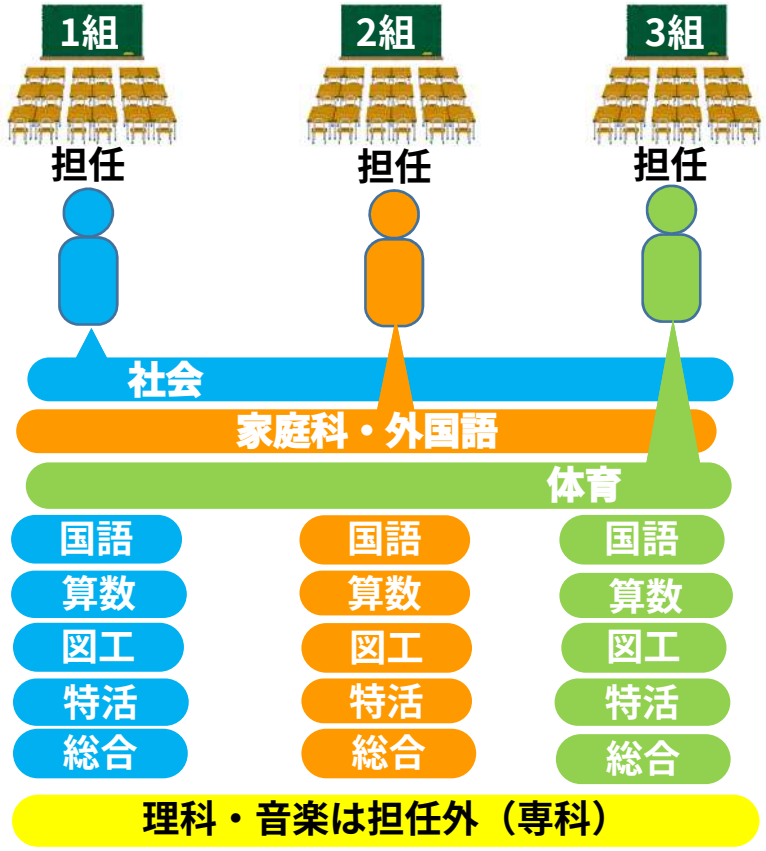
題材ごとに
授業交換

【調査方法】「令和６年度公立小・中学校等における教育課程の編成・実施状況査」と同条件で各学校に聞き取りを実施

小学校の教科担任制について

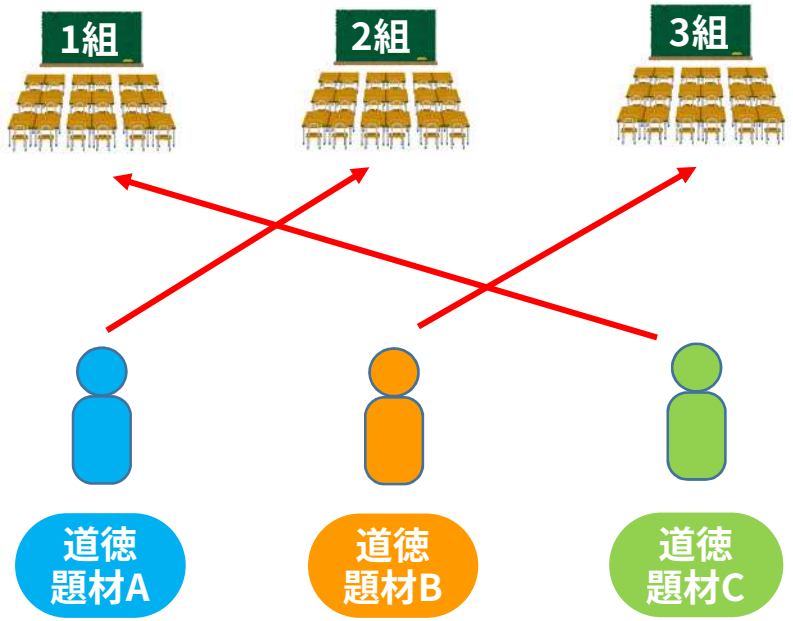
取り組み方（例）

教科担任制



※担任の人数で、持ち時数の偏りなく教科を分ける。
※４クラスの場合は２クラスずつで分ける場合もある。

授業交換



- 学年間で特定の教科の時間割をそろえて、**単元や題材ごとに教員の入れ替えを行う。**
- ３クラスの学年で、ローテーションで行う場合は、**同じ授業を３回行うことができる。**
（上記は道徳の例）

※給食や掃除の時間に行うことで、児童理解を深めることもできる。

ICTを活用した工夫

戸田型ハイブリッド学習

教室A(リアルタイム授業配信)



授業の導入・全体思考の共有 ・まとめ等

配信

教室B



グループの思考を深める

教室C



個別の理解度に応じた支援

配信

教室D



板書で理解を深める

その他にも



一人一人の理解度の見取り



全体共有資料の補足説明

【 授業イメージ 】
（小学校算数を例に）
・教師の働きかけ

	配信教室	各教室
0	**導入** ・関心を高める ・課題提示	・動機付け
5	・学習状況をモニターしながら全体思考の流れを即時に構想	**課題解決（個別）** ・課題理解確認 ・補足説明 ・板書 ・個別支援
		課題解決（グループ） ・補助発問 ・グループ支援
25	**全体思考** ・共有 ・練り上げ ・まとめ	・個別支援
37	・理解度の確認	**学習の適用** ・個別支援
42	**全体共有**	**ふりかえり** ・個別支援
45		

指導力に優れた教師が授業配信を行うことで、**効果的に児童の興味関心を高めたり、全体指導**を行ったりすることができる。また、各教室においては、**きめ細やかな見取りと指導**ができる。副次的な効果として、各教室の教師にとっては、優れた教師の指導を通した**教員研修**にもつながる。

教科担任制による時間割の例

【従来の時間割】

・専科を除き、学級担任が全ての教科を教える

⇒**24時間分**の教材研究や準備が必要

	月	火	水	木	金
1	国語	国語	書写	国語	国語
2	算数	算数	算数	算数	算数
3	社会	社会	社会	総合	総合
4	外国語	音楽（専科）	理科（専科）	理科（専科）	理科（専科）
5	体育	図工	体育	体育	家庭
6		図工		道徳	家庭

・６年１組の先生は、３クラス分の社会を担当

・道徳は、３人の担任で題材を分担して授業交換

⇒必要な教材研究は**17.3時間分**（－6.7時間）

	月	火	水	木	金
1	国語	国語	国語	国語	国語
2	算数	算数	算数	算数	算数
3	社会1組	社会1組	社会1組	総合	総合
4	社会2組	音楽（専科）	理科（専科）	理科（専科）	理科（専科）
5	社会3組	図工	社会2組	社会3組	社会2組
6		図工		道徳（交換）	社会3組

教科担任制を導入している学校の声

○児童に複数の教員が関わることができる
- 学年の児童を学年全体で見る意識が生まれる
- 教員が様々な角度から児童のよさを見つけられる
- 児童が担任以外の先生に相談しやすくなる



○授業の質を高めることができる
- １つの教科にかける教材研究の時間が増える
- 担当教科の授業を１年で多く経験できる
- 同じ授業を複数回行うので、授業改善がしやすい

▲時間割の作成や急な変更が難しい
▲学校や学年が変わると、受け持つ教科が変わる可能性がある
▲小学校では国語・算数の宿題を毎日出すことが多く、宿題の確認や定着の見届けについて、担任と十分に連携する必要がある
（国語と算数で教科担任制を行う場合）

【参考】
R5・R6年度 戸田市カリキュラム・コーディネーター研修会 協議より
(小学校の教務担当者より聞き取り)

校長･教頭会ピアレビューや教務担当者対象の研修会で成果と課題を情報共有

▶

国の動向を踏まえ、各学校の実態に合った取組を推進